



第20-50号

2020年11月10日

## MaaSアプリ「EMot」を活用した新モビリティサービスの運行開始！ 11月16日、町田市でオンデマンド交通「Eーバス」の実証スタート ～郊外住宅エリアにおける需要と、地域施設と連携した利用促進の効果を検証～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2020年11月16日（月）から12月25日（金）（予定）まで、町田市山崎町周辺で、オンデマンド交通「Eーバス」を実証運行し、郊外住宅エリアにおけるオンデマンド交通の需要や、対象地域内の各種施設と連携したクーポン等のインセンティブを活用した「Eーバス」のオフピーク利用促進効果等の検証を行います。

「Eーバス」は、対象エリア内に設ける19か所の「乗降地点（ミーティングポイント）」の間の移動を提供するオンデマンド交通サービスです。実証運行期間中、当社が提供しているMaaS（※1）アプリ「EMot」から、「Eーバス」の配車リクエストが行えます。希望の乗降地点を「EMot」の配車リクエスト画面で選択することで、ご自宅近くの「乗車地点」から目的地近くの「降車地点」までの配車などを手配することができます。また、「EMot」の経路検索機能では、「Eーバス」と路線バスや鉄道を乗り継ぐ経路検索も可能になります。実証運行には、「EMot」をダウンロードいただくことでどなたでも無料で参加いただけます。

また、実証運行中に、対象地域内の各種施設と連携した利用促進策を実施します。「Eーバス」のオフピーク時間帯の利用者へ商業施設の割引券を提供し、オフピーク時間帯の利用促進を図ります。そのほか、医療・福祉施設と連携し、各診療所・薬局等にてバスの代理予約を受け付け、スマートフォンアプリをお持ちでない方でも、通院時等に気軽にご利用いただける環境を提供します。



配車リクエスト画面の例



実証運行で使用する車両（イメージ）

なお、本実証運行に伴う周辺施設と連携したオフピーク利用インセンティブの付与効果の検証は、経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」の「先進パイロット地域」における取組みとして選定を受けています（※2）。

※1 Mobility as a Service

※2 参考：経済産業省ホームページ <https://www.meti.go.jp/press/2020/07/20200731005/20200731005.html>



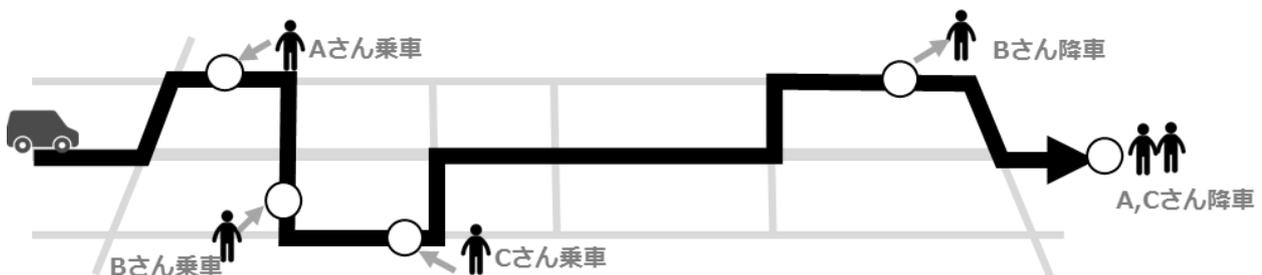
- 5 乗車費用 無料
- 6 乗降地点数 19箇所
- 7 使用車両 トヨタ アルファード  
※ 最大同時運行台数2台
- 8 配車システム AI運行バス  
※ 「AI運行バス」は株式会社NTTドコモの登録商標です

9 基本的な運行方法

基本的な運行方法は以下のとおりです。なお、詳細な利用方法や最新情報については、「EMot」公式ウェブサイト (<https://www.emot.jp/>) にてお知らせします。

基本的な運行方法

- お客さまのアプリ（EMot）からの配車リクエストに応じて、随時経路を変えながら運行します
- お客さまが指定した乗降地点で乗降できます  
※ 同じ時間帯に同じ方向に行く人と相乗りになります
- エリア内路線バスの一部バス停付近にミーティングポイントを設置しており、「Eーバス」と路線バスや鉄道を乗り継ぐご利用も可能です



10 連携施策

- (1) グランハート町田（医療・福祉施設）  
一部テナントの受付で代理予約の実施を計画中
- (2) スーパー三徳町田山崎店、町田北店  
「Eーバス」オフピーク時間帯利用者に両店舗で使える割引券を提供

以上